

## ◆八千代庁舎 建具の基本性能仕様

### □外部建具

- ・外部建具はアルミ製建具、アルミ製カーテンウォールを基本とし、仕上げはBB-2（着色陽極酸化塗装複合被膜）とする。
- ・アルミ製建具の見込みは70mm、アルミ製カーテンウォールの見込みは100mmとする。
- ・アルミ製建具の開き勝手は、主に片引き窓を基本とする。その他、はめ殺し窓、突出し窓とする。
- ・方立ピッチは、@1200mmのモジュールを厳守する。

#### 【アルミ製建具基本性能仕様】

- ・耐風圧性能：設計耐風圧は、基準風速34m/s(八千代市)、地表面粗度区分Ⅲ、再現期間200年にて算定している。→S-5(2400Pa)
- ・水密性能：W-4以上(中層建物及び市街地立地であることを考慮)
- ・気密性能：A-4(漏気による熱損失、遮音性能の確保、砂塵の進入を考慮)
- ・遮音性能：一般部 原則T-1(25dB)を満足すること。
- ・防火性能：延焼のおそれのある範囲については、防火設備を設置する。ガラスは意匠性を考慮し、網入りガラスではなく、耐熱強化ガラスとする。

#### 【アルミ製カーテンウォール基本性能】

- ・形状形式：ノックダウン形式
- ・層間変形：大地震時 1/100 →部材の脱落・破損・ガラスの破壊及び主要部材に有害な歪が起こらないこと。シーリングは補修程度。  
中地震時 1/200 →シーリング含めて全ての部材に脱落・破損が起こらないこと。
- ・たわみ量：4m 20mm以下
- ・防火性能：外壁耐火60分

#### 【サッシシリーズ】

- ・一般サッシ：YKKap SYSTEMA31シリーズ(同等) / ・カーテンウォール：YKKap SYSTEMA9201シリーズ(同等)

### □内部建具

- ・頻繁に往来・開閉が必要な建具は、重量が軽く使い勝手がよい鋼製軽量建具(以下LD)とする。
- ・倉庫についても利用頻度を考慮してLDとする。
- ・会議室、議員控室等の建具の遮音性能はT-2、議場の遮音性能はT-3を満足すること。
- ・設備系室(機械室・電気室)については、遮音を考慮して鋼製建具(以下SD)とする。発生騒音を考慮して、気密・遮音性能を設定する。
- ・PS・DS・EPSについては、鋼製片面フラッシュ戸とする。
- ・通行人への衝突防止を考慮し、居室出入口については、引き戸、内開き戸を原則に組み立てる。外開きとする場合は、十分な開きしろを設ける。但し、開閉頻度の少ない、機械室、倉庫、PS類については外開きも可とする。
- ・建具の幅は原則、片開きW900mm、親子開きW1200mm、両開きW1800mmとする。
- ・出入口については、「千葉県福祉のまちづくり条例」に定められた基準を遵守する。
- ・建具高さはH2000mmを共通とする。
- ・扉には、機械室等気密が必要な扉以外は、反対側の様子が覗けるように切窓を設置する。
- ・切窓を設置する場合は、ガラスの破壊により容易に鍵が開けられない位置、大きさとする。
- ・更衣室、倉庫類は、反対側の様子が覗けるように、切窓(片板ガラスor プラストフィルム)付きとする。

### □ガラス計画

- ・外部窓ガラスについては、室内環境の熱負荷低減を図るため、断熱性能に優れたLow-E 複層ガラス(Low-E ガラス6mm+空気層6mm+フロート6mm)を採用する。カーテンウォールのガラスも原則、Low-E 複層ガラス(Low-E ガラス8mm+空気層6mm+フロート8mm)とする。
- ・Low-E ガラスは、建物南面、西面、東面は日射遮熱型、北面は日射取得型とする。
- ・人や物の衝突のおそれにある部分については、ガラスを用いた開口部の安全設計指針(日本建築防災協会)に則り、割れても安全なガラス=強化ガラスor 合わせガラスを採用する。
- ・強化ガラスは自然破壊があるため、地上・床面よりガラス上端までの高さが3mを超える部分については室内側に「飛散防止フィルム」を貼る。